横浜天声キリスト教会　週報　第16巻29号（No.597）　2021年7月18日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ローマ12:1 ・・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 28番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175番　み霊よわれ歌う時
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：史執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　382番　約束の地を
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ 主へ捧げ尽くした礼拝であったエリコの第七日目(ヨシュア記6:15-27)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　71番　みなささげまつり
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによって____に勧める。____のからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。それが、____のなすべき霊的な礼拝である。____は、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。（ローマ12:1-2）

____は、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。____の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。____はさまざまな議論を破り、神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、そして、____が完全に服従した時、すべて不従順な者を処罰しようと、用意しているのである。（2コリント10:3-6）

もし____が卑しいものを取り去って自分をきよめるなら、____は尊いきよめられた器となって、主人に役立つものとなり、すべての良いわざに間に合うようになる。（2テモテ2:21）

メッセージ概要

主が、神の民に与える、と約束しておられた地、新しい祝福の領域へと入って行く書・ヨシュア記から再び養いを得たい。神様が「与える」と約束しておられる祝福の地に入るには、御言葉の剣の前にひれ伏し、口を閉ざし、主から言われた通りを、人の側でできる努力を全て注いで実行する事だった。従順は、要塞をも打ち破る強力な武器であり(2コリント10:4)、その従順が完成する時、主が働いて、主の奇跡が起きる。

『*七日目（バヨム・ハシェヴィイー）になると、朝早く夜が明けかかる頃、彼らは同じ仕方で町を七度回った。この日だけは七度町を回った。*』(ヨシュア記6:15)　この「七日目」のヘブライ語は、創世記2:2や出エジプト記20:11の「第七日目」と全く同じで、いわゆる「安息日」と考えられる。その日は世の仕事はしてはならないはずなのに、なぜ？と思われるかもしれない。しかも主から命じられている事は、その日は町を七周し、ときの声を上げ、城壁が崩れたら、その町に攻め上って行かなくてはならない、という、結構な仕事である。

元々、安息日のヘブライ語「シャバット」は、辞書をみると**「（努力を）やめる」**事が原意だと分かる。安息日。その日は、人間的な努力も、わざも、一切入り込んではならない日。ただ主の創造のみわざの完成を覚え、記念とし、他と切り分けて「聖」とすべき日である。という事は、肉体としては働き、戦っているのに、それは世の「労働」とは全く別物だ、という事が、大いにありうる。事実、イエス様は安息日に働かれた。

だから、エリコの戦いにおける「第七日」は、世の戦いの日ではない。世の労働や戦争とは別次元の日、すなわち、**主のみわざの完成を覚える日**、**主にあって安息する日**、**主へ捧げられた「礼拝」の日**なのだ。

『*この町と、その中の全てのものは、**主への奉納物として滅ぼされ（ヘレム）**なければならない。*』(17節a)
「ヘレム」とは「聖絶」とも訳され、「**主に全く捧げ尽くす**」事である。それは、実は、理に適った礼拝である。
『*あなた方の「からだ(ソーマ：霊・肉・魂を含めた全体）」を、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物として捧げなさい。それが、あなた方のなすべき「霊的な**（ロギコス：理に適った）「礼拝**」である。*』(ローマ12:1)

世で働いているかのように見えて、実は「礼拝」だった、という事があり、世で戦っているかのように見えて、実は「礼拝」であるという事がある。**私達の霊・肉・体、全部を、神に受け入れられる、生きた備え者として捧げる時、それが礼拝**である。その時、私達が受けるべきものは何も無く、全て主のもの、とするべき時である。

その時、人の努力も、わざも、一切、混じり込んではならない。ただ100%主の御業の完成を覚えるのだ。その日を迎えるまでの六日間、人の側は、従順を働かせて、世において働くべき期間である。その期間は一切、自分の言葉を出してはならない。そうして、ずっと自分の言葉の沈黙を続けた日々の後、第七日目、礼拝の日には、主が約束されたものが成就する信仰を表現するために、叫ぶべきなのだ。

『*また、あなたがたは、**奉納物（ヘレム）に手を触れてはならない。**奉納に当り、その奉納物をみずから取って、イスラエルの宿営を、滅ぼさるべきものとし、それを悩ますことのないためである。*』(18節)

ヨシュアは再び、エリコのものは、全て、主に捧げられなければならない「ヘレム」である、と言った。それを取るなら、滅ぼさるべき対象となり、それによって悩まされる、と。私達も、主に捧げ尽くすべきものを幾分か取って、「わが物」にしてはならない。そうすると、滅ぼされるべきものと見做され、自分自身だけでなく、自分の家族、ひいては、集会全体に、災いを持ち込む事になってしまうからだ。

さらにヨシュアは、エリコを再び要塞化しようとする者を呪った（26節）。エリコのシステムを、すなわち、共に集まって城壁を構築し、他から奪い取り、人を遊女として身売りさせ、搾取し続け、自分だけが甘い汁を吸い続けるようなシステムを、復活させようとする者は、呪われて然るべきであり、私達も呪うべきなのだ。

エリコの終わりの日、それまで何世代にも渡って積み上げてきた城壁も、不品行や罪深さによって積み上げて来た富や実績も、全て崩れ落ち、それらを頼りにしていた人々は、逆にそれらによって押しつぶされてしまった。この世の終わりの日も、それら積み上げてきた罪々の報いが、それぞれの頭上に降りかかる。

今、終わりの時がどんどん近づいている。私達はそれをますます意識し、職場において、学校において、あらゆる場面において主にお捧げして、理に適った礼拝を捧げ、主の100%の御業と奇跡を、それぞれの場所場所へ持ち込んでいく皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00
食事/フェローシップ　12:30～
English Service　14:00～

※月に一度、成田出張礼拝のためお休みします。
詳しくはお問い合わせ下さい。

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～
火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～
2 部　19:30～

金曜祈祷会　19:30～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 16 巻 29 号　　2021 年 7 月 18 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube